

演劇から広がる人のつながり

伊予市教育委員会事務局 社会教育課

1 概要

伊予市教育委員会では、市民が演劇等に触れ、豊かな感性を育むことを目的として演劇等の体験及び公演を実施している。市民が文化芸術に親しむきっかけをつくり、IYO 夢みらい館（伊予市文化交流センター・図書館）を核とした様々な世代・団体の交流やまちのにぎわいの創出を目指して取組を進めている。

2 経緯

令和2年4月にIYO 夢みらい館がグランドオープンすることを前に、将来を担う子どもたちが文化・芸術に親しみ、豊かな感性を育むことを目的として、令和元年度に演劇鑑賞事業及び演劇体験講座を実施した。坊っちゃん劇場のアウトリーチ事業の協力で開催された子ども向け演劇「ミンナ愛顔」の公演と演劇体験は好評で、令和2年度には市民参加者を主体とした演劇公演事業を実施した。以降、令和6年度まで演劇公演事業を開催し、延べ93名の出演者が参加し、市内の様々な世代・団体の交流やまちのにぎわいの創出に寄与している。市民出演者の人数の推移は、以下の表のとおりである。

年度	新	再	合 計
令和2年度	14 人	0 人	14 人
令和3年度	11 人	8 人	19 人
令和4年度	4 人	13 人	17 人
令和5年度	3 人	11 人	14 人
令和6年度	12 人	17 人	29 人
延べ参加者数			93 人

3 年間の活動の流れ

- 7月～ 参加者・スタッフ募集
- 9月 オーディション、練習開始
- 12月 文化ホール練習、公演告知
- 1月 公演
- ※令和6年度ミュージカル公演の例



【演劇練習の様子】

4 活動の広がり

令和2年4月にグランドオープンしたIYO 夢みらい館と共に育ってきた本事業は、様々な年代の出演者・スタッフが参加し、演劇のみならず歌唱や衣装製作に至るまで活動の裾野が広い。令和6年度は、ミュージカルを含む多様なジャンルの芸術公演を開催し、市内中学校の人権劇への演技指導など新たな取組が見られた。

5 令和6年度の特徴的な取組

(1) 多様なジャンルへの挑戦

令和6年度の演劇公演事業では、オペラ・ミュージカル・時代劇の三つのジャンルの公演を開催し、市民に多様な参加機会を提供することができた。

9月のオペラ公演では、県内外で長年活動が続ける「オペラプラザ愛媛」の協力を得て、自然農法で世界に知られる伊予市出身の福岡正信氏のエピソードを美しい歌声と演技で来場者に届けることができた。

1月のミュージカル公演では、これまで4回にわたり開催してきた実績があり、経験豊富な出演者と初参加の出演者が互いに切磋琢磨し、毎週の練習が充実したものとなった。市内を活動拠点とするコーラスグループ「レディース・シンガーズ伊予」の協力により、演劇とコーラスのコラボレーションが実現し、公演の来場者にも大変好評であった。

3月の時代劇公演では、令和6年に結成した劇団「玄喜座」の協力を得て、演技や殺陣、躍動感あるアクションシーンが見られた。



【オペラ公演】



【ミュージカル公演】



【時代劇公演】

(2) 中学校人権劇への講師派遣

市内中学校の人権学習の授業に演劇講師を派遣し、表現活動を通じて、生徒が互いの存在を認め合う思いやりの心を育み、併せて文化芸術に対する関心を高めた。学校現場では役割演技による道徳の授業や表現の学習に取り組んでおり、学校のような集団で学び合う環境において演劇の果たす役割が増している。



【講師派遣による中学校での人権学習の様子】

6 成果と課題

令和元年度からの6年間の演劇関連事業により、市内の文化活動に新たな風を起こすことができた。今後、事業を通して高まっている市民の演劇への熱が継続的な活動に結び付くためには、市民主体の活動をどのように支援するのか工夫を凝らす必要がある。市内各地の文化施設を活用し、市民が舞台芸術に親しみ、様々な交流が生まれるよう取組を継続していく。